

クールくらしきアクションプラン (倉敷市地球温暖化対策実行計画(区域施策編))改定素案について

1 改定の背景

本市では、市内全域を対象とした温室効果ガスの削減計画「クールくらしきアクションプラン」(以下「計画」という)を平成23年2月に策定、平成30年3月に改定し、市民・民間団体・事業者・行政等、市内のあらゆる主体が連携・協働して地球温暖化対策に取り組んできました。

令和2年10月に日本が「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言し、令和3年10月に国の「地球温暖化対策計画」が見直されたこと、令和3年6月に本市がゼロカーボンシティへのチャレンジを表明したことなどを踏まえ、計画を改定します。

2 計画の位置付け

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第3項において、中核市以上の地方公共団体に策定が義務付けられている「地方公共団体実行計画(区域施策編)」及び、気候変動適応法第12条において、都道府県及び市町村に策定が求められている「地域気候変動適応計画」に位置付けます。

3 計画期間

計画期間：2023年度から2030年度まで

基準年度：2013年度

目標年度：2030年度、2050年度

計画の見直し：国の動向や温室効果ガス排出状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

4 温室効果ガス削減目標

目標設定の考え方

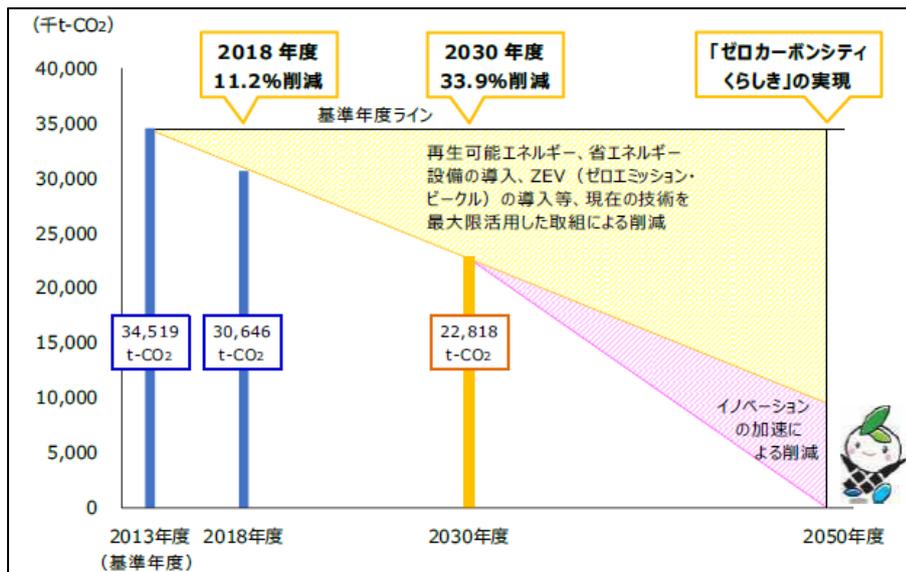
本市の温室効果ガス排出構成において、産業部門からの排出が約8割を占めること、産業部門の事業者は、すでにカーボンニュートラル実現に向けた取組を推進していることを踏まえ、以下の方法で目標を設定します。

- ・産業部門等：事業者が個別に設定している削減目標を反映する。
- ・その他部門：国の「地球温暖化対策計画」の部門別目標を反映する。

目標値

	2030年度目標 (2013年度比)	2050年度目標 (2013年度比)
現行計画	11.6%削減	80%削減
素案	現在の技術を最大限活用し、 33.9%削減	イノベーションの加速により、 「ゼロカーボンシティくらしき」を実現

目標のイメージ



5 再生可能エネルギー導入目標

目標設定の考え方

本市は民生部門（家庭・オフィス）からの排出削減に重点的に取り組むこと、本市の再生可能エネルギー導入ポテンシャルは太陽光発電が圧倒的に高いことを踏まえ、民生部門における太陽光発電の導入目標を設定します。

目標値

	2030年度目標 ^{※1}	2050年度目標 ^{※1}
導入目標量（太陽光発電）	462,331 kW	1,294,716 kW
10kW未満	141,343 kW	637,999 kW
10kW以上	320,987 kW	656,717 kW
発電見込量	594,218 kWh	1,634,354 kWh
CO ₂ 削減見込量	213,621 t-CO ₂	587,550 t-CO ₂
削減率 ^{※2}	▲10.7%	▲29.5%

※1：端数処理の関係で合計が合わない場合があります。 ※2：2013年度の民生部門（家庭・業務）比

6 計画の基本理念と取組方針

□基本理念：脱炭素技術とゼロカーボンライフスタイルで持続可能な未来を創る

□取組方針：4つの「クール」と1つの「ホット」と1つの「そなえ」

7 今後のスケジュール

- 令和5年1月～2月 パブリックコメント実施
- 令和5年3月 地球温暖化対策審議会の開催
- 令和5年6月 地球温暖化対策審議会の開催、地球温暖化対策審議会から答申
- 令和5年7月以降 計画改定・公表